



スコテリン簡易使用説明書

当洗浄剤は、手術室で使用される医療器具や各科で使用される硬性器具、軟性鏡、および一般医療器具を洗浄・除菌するための製品です。(一部使用できないものもあります)*

* マテリアル適合表参照

事前準備

- まず、スコテリンを使用できるように最終液の作製を行ないます。
- 4Lのスコテリン A 剤タンクに、同梱 B 剤(90mL パック)を添加し、軽く振って混合します。
- 専用浸漬容器(ポリエチレン製推奨)にスコテリンを移し替え準備を整えます。

- ① 使用後の医療器具等の水洗を十分に行なってください。
- ② 器具の点検を実施してください。(亀裂、漏れ、レンズ等の損傷、破損などがないかどうか)
- ③ スコテリンに過酢酸濃度の確認用テストストリップを用い過酢酸濃度が 500mg/L 以上の反応色があることを確認します。
- ④ 医療器具を、スコテリン(原液)に浸漬し約10分間暴露させてください。
- ⑤ 管腔器具等、浸漬洗浄時に浸漬が危ぶまれる部分へは、シリンジ等用いスコテリンをその部分へ充足してください。
- ⑥ 適性水で医療器具を水洗します。
 - a. 流水の場合: 1~2分十分に流した後、水洗用容器に5分浸け置き水洗をします。
 - b. はじめから浸け置き水洗の場合: 1~2分浸け置きした後、適性水を入れ替え5分浸け置き水洗をします。
 - c. 適性水を交換しない浸け置き水洗の場合: 10分浸け置き水洗をします。
- ⑦ 改めて医療器具を点検してください。
- ⑧ 点検ののち乾燥させ、適切な処置後(クリティカル器具は滅菌)保管をします。
- ⑨ 4週間を超えたり対象となる器具の使用頻度が多い場合など、スコテリンを過酢酸濃度の確認用テストストリップにて確認し 500mg/L 以下の反応色になった場合はスコテリンの交換をおねがいします。

使用後のスコテリンは、流水と絡めて排水処理をしてください。

ケイアールディジャパン株式会社

〒134-0083 東京都江戸川区中葛西3丁目2番5号村岡ビル2F
TEL.03-5659-2024 FAX.03-5659-2025

スコテリン使用上の注意

(用法上の注意)

1. スコテリンは酸性であるため、次亜塩素酸ナトリウム等の塩素系製剤と混合すると塩素ガスを発生するので十分注意すること。(他薬剤とも混合させない事)
2. スコテリンを使用する時は、必ず洗浄用の手袋を着用すること。
3. 手指や皮膚、顔面(目)等に直接スコテリンが触れないこと。
 - * 万が一、直接触れた場合はすぐに流水にて十分洗い流すこと。
 - * 万が一、直接接触により皮膚等に炎症が起こった場合は、すみやかに皮膚科または専門医を受診すること。
4. スコテリン使用中に浸漬槽よりテーブル等に飛散したスコテリン液は、すみやかに拭き取る事(場合によってはアルコールを浸した布・雑巾を使用)。
5. 必ず、A 剤と B 剤を混合し、希釈をせず原液のまま使用すること。
6. 洗浄効果、除菌効果を保つため、使用中のスコテリンに注ぎ足しはしないこと。
7. A 剤と B 剤を混合後は、速やかに使用すること。
8. 誤飲を避けるために、保管及び取り扱いには十分注意をすること。

(取り扱い上の注意)

1. 混合後の液剤に、直接日光が当たらないようにすること。
2. 期限内に使用すること。[外箱ラベルに記載]
3. 過酢酸濃度の確認用テストストリップを用い過酢酸濃度が適正なのか適時確認をすること。
4. 使用中は、換気に気をつけること。

(保管上の注意)

1. 室温にて保管すること。
2. 直射日光を避け保管すること。
3. 火気に近づけないこと。
4. 横倒ししないこと。

* この製品は、劇薬、劇物ではありません。

ケイアールディージャパン株式会社

〒134-0083東京都江戸川区中葛西3丁目2番5号村岡ビル2F
TEL.03-5659-2024 FAX.03-5659-2025